

## 「海外注目判決」を始めるにあたり

会誌広報委員会

「知財管理」誌では、2014年11月号で「続・判例研究」を終了し、2015年1月号から新シリーズ「海外注目判決」をスタート致します。

知財実務のグローバル化に伴い、日本企業が海外の判決を学ぶ必要性は増しています。会誌広報委員会は、そのニーズに応えるため、実務上重要であると考え「海外の注目すべき判決」を紹介する新企画として、「海外注目判決」を立ち上げました。「知財管理」誌では、会誌広報委員が選定した判決について有識者に実務上の指針等を論じていただく「判例と実務シリーズ」を掲載していますが、本号より、日本の判決は「判例と実務シリーズ」で取り上げ、海外の判決は「海外注目判決」でご紹介して参ります。

「海外注目判決」は、米国・欧州・中国など諸外国の最近の判決について分かり易く解説するとともに、実務上の注意点や日本人には馴染みのない当該国特有の制度など、その国で事業活動をする上で知っておくべき有益な情報を適宜織り交ぜ提供していきます。現地での実務経験が豊富な方を中心に執筆を依頼し、取り上げる判決は日本で話題になっている判決に限らず、日本ではあまり知られていなくとも実務上注目すべき判決も紹介していきたいと考えています。

会誌広報委員会は、この度の「海外注目判決」の開始によって、さらに誌面を充実させ、引き続き、読者の皆様にとってできるだけ有益な情報をお届けできるよう鋭意努めて参る所存です。今後とも、ご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。